

【声に出して読む】 俳句 種田山頭火 四

ふるさとは 遠きによりて 思ふもの

ふるさとは とおきによりて おもうもの

吹かれつつ しづかに歩いて いる

ふかれつつ しずかにあるいて いる

何を求めるでもなく 風が吹く

なにをもとめるでもなく かぜがふく

酔いざめて 路ゆく山の 青さかな

よいざめて みちゆくやまの あおさかな